

B' 210mm

A' 210mm



君津リトルシニア(中学生硬式野球)について



大人の勘違い？

「子供の体が小さいから」「野球が下手だから」と子供の夢を奪っていないでしょうか？
子供の体の成長は、それぞれ異なります。身長や体重が急激に伸びる子、中学時代はさほど身長、体重は伸びなかったが、高校に入って急激に伸びる子、人それぞれです。**中学生時代にどんな子供でも成長が期待できるのは精神面です。(将来のために重要な要素です)**

親が大変では？

お茶当番や遠征など親が大変ではないのかとの声を聞きますが、主な遠征は、公式戦の時です。(これは中学校でも同じ)。練習試合は、基本的に、グラウンドを有しない、東京都や神奈川県ของทีมを受入れます。お茶当番は、1～2カ月に1回の周期です。**子供の成長を3年間見守りながら、野球と一緒に楽しみませんか!!**

体験を通じた社会性の育成

君津シニアでは、全国ของทีมとの交流があります。他では体験できないチームとの交流を通じて、野球のレベル、中学生としての成長度を認識することができます。**中学時代の交流は、高校、大学、社会人になったときに素敵な『宝』として心に残ると確信しています。**

選手の進路

君津シニアの卒団生の進路は、公立高校12進校、私立高校19校の県内外31校の実績があります。
卒団生は、礼儀正しく元気がある、努力を良くするなど、進学先の学校関係者から一定の評価をいただいており、多くの高校での主将を歴任させていただいております。
野球に関わる進路については、指導者の充実したネットワークで全力サポートしております。

卒団生の進路

<公立>

天羽高等学校、上総高等学校、木更津高等学校、君津青葉高等学校、君津高等学校、君津商業高等学校、袖ヶ浦高等学校、館山総合高等学校、千葉工業高等学校、千葉商業高等学校、千葉東高等学校、銚子商業高等学校

<私立>

あずさ第一高等学校、市川学園高等部、関東第一高等学校(東京)、木更津総合高等学校、暁星国際高等学校、クラーク記念国際高等学校(宮城)、敬愛学園高等学校、酒田南高等学校(山形)、志学館高等部、翔凜高等学校、拓殖大学紅陵高等学校、千葉英和高等学校、千葉学芸高等学校、千葉経済大学付属高等学校、東海大学付属市原望洋高等学校、東京都市大学付属塩尻高等学校、横浜高等学校(神奈川)、流通経済大学付属柏高等学校、千葉明德高等学校

君津シニア主な戦績

<全国大会出場>

第14回全国選抜大会出場(平成20年) 大阪ドーム他

第15回全国選抜大会出場(平成21年) 大阪ドーム他

<関東大会出場>

平成18年秋季関東大会出場

平成19年春季関東大会出場

平成19年秋季関東大会出場

平成20年秋季関東大会出場(ベスト8)

平成27年秋季関東大会出場

CHIBA LOTTE MARINES CUP 2018 **第3位**(千葉県中学硬式野球選手権)

スタッフ

【監督】	篠原 孝治(拓殖大学)	※は、君津シニアOB
【コーチ】	三堀 剛(君津商業高等学校)	領家 訓応(元かずさマジック投手)
	津野 響輝※(駿河台大学)	須永 裕也※(天羽高等学校)
【技術アドバイザー】	与田 剛(前中日ドラゴンズ監督)	真下 貴之※(元横浜DeNAベイスターズ投手)

投手の育成 ～投手を目指す選手には～

君津シニア篠原監督は、**独特の投手育成理論を有し、中学生時代のトレーニング法等、強豪高校の指導者から評価が高く、OB選手が高校進学後で高校指導者のもと引き続きその能力を伸ばしています。**結果として、元横浜DeNAベイスターズ真下貴之(子安クラブ出身)投手(東海大望洋高)、平成19年夏東京大会ベスト4の関東第一高等学校の甲斐俊也(坂田ジュニア出身)投手、平成30年秋千葉県大会でベスト8の暁星国際高等学校の風澤 陸(中ファイターズ出身)投手を輩出しています。

また、中日ドラゴンズ監督の与田剛氏や松坂大輔選手の中学生時代に江戸川南シニアで指導にあたった大枝監督(現:東京城南ボーイズ)との交流も深く、選手一人一人の個性を生かした指導にあたっています。

打撃力の育成 ～スラッガーを目指す選手には～

君津シニアの打撃は、君津シニア篠原監督が知人である元横浜DeNAベイスターズコーチの蓮葉氏(現世田谷西シニア総監督)から長年の歳月を掛けて習得したホウライスウィングで、導入以降、君津の選手の飛距離、打球の質が飛躍的に向上しています。

元横浜DeNAベイスターズの山下幸輝選手(子安クラブ出身)や大学野球の神奈川工科大学 長嶋峻佑選手、拓殖大学 五十嵐奨斗選手なども**中学時代は、小さな体で力強い打撃ができませんでしたが、君津シニアで学んだ打撃と日々のたゆまぬ努力、そして精神力で今でも自身の『夢』を追い続けています。**

グラウンド隣接地に**君津シニア専用の室内練習場・夜間照明を整備**しており、平日は、各選手が自由に室内練習場やグラウンドを使用して、バッティングの向上を図ります。

守備力の育成 ～堅実な守備を目指す選手には～

君津シニアの守備に関しては、高校野球でも数校の実力校で行われているカバーリング、戦術やきめ細かな連携プレーの指導に力を注いでいます。**中学生に必要な堅実な守備(「辛抱して守り抜く守備」「堅実な守備力は攻撃のリズムを作る」)と感性を育む基礎の反復練習を重視しています。**

現在、君津シニアOBは、長嶋亮磨選手(七十七銀行)、山本裕和選手(千葉工業大学)、稲葉冬武選手(城西国際大学)、小島颯太選手(帝京平成大学)、浅井来斗選手(帝京平成大学)長嶋峻佑選手(神奈川工科大学)古茶龍太選手(清和大学)、領家佑馬選手(城西国際大学)、笠原雅也選手(千葉商科大学)、吉原聖也選手(駿河台大学)、五十嵐奨斗選手(拓殖大学)など**多くの選手が野球を続け評価されています。**

保護者の皆様へ

間もなく思春期を迎える中学3年間、人生の中でも最も変化があり重要な時期と言われています。

君津シニアは、**野球だけではなく人としての成長を同時期に育んでいます。**

技術的には、選手個々の能力は、努力で芽が出て育ちます。しかし、その支えとなる**人と人との関わりは、重要な栄養剤(肥料)です。**

小学校からエースで4番だからそのまま成長するわけではありません。逆に今、補欠で何も上手に出来なくても、本人の『努力』と『精神力』を持ってすれば、必ず芽が出て周囲から認められる選手(人間)になります。そういった個々の選手の成長を支えるのが**指導者であり保護者です。**

子の「夢」・親の「夢」を君津シニアで叶えましょう。**「夢から現実へ」**

子供の前向きな姿勢を是非応援してください。